

令和7年度 高岡商工会議所事業計画・予算 基本方針

I 基本的な考え方

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」は当地域にも甚大な被害をもたらし、未だ事業再建が道半ばの事業者も多くあり、会員事業者をはじめ地域の皆さまが新たな一歩を進めてもらえるよう、昨年度より実施している「地区割担当制による巡回訪問」を基本とした伴走型支援を強力に進めていく。

また、地域紛争の長期化や主要国の政権交代の影響等、先行きが見えない経済環境の中、特に、中小企業・小規模事業者は価格転嫁が進まず、防衛的賃上げによる収益の悪化、慢性的な人手不足や事業承継の問題等、厳しい状況にある。これら喫緊課題への対応として、人手不足に対応したデジタル化、省人化による生産性向上、海外等への販路開拓や創業・事業承継支援等に取り組んでいく。

そして、当地域の活性化に向け、「経済界の考える都市デザイン」の策定や地域の魅力向上・ブランド化に関する事業に取り組むとともに、インバウンド需要の増加が期待される観光産業の育成を支援していく。

II 予算の概要

(1) 予算規模

令和7年度の予算規模は次の通りである。

区 分	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一 般 会 計	211,542 千円	212,358 千円	▲816 千円	▲0.4%
相 談 所 会 計	103,445 千円	97,370 千円	6,075 千円	6.2%
共 済 会 計	51,155 千円	43,278 千円	7,877 千円	18.2%
商 工 ビ ル 会 計	152,307 千円	239,754 千円	▲87,447 千円	▲36.5%
小 計	518,449 千円	592,760 千円	▲74,311 千円	▲12.5%
特定退職金会計	544,863 千円	599,606 千円	▲54,743 千円	▲9.1%
合 計	1,063,312 千円	1,192,366 千円	▲129,054 千円	▲10.8%

(2) 予算構成比

令和7年度の各項目の予算構成は次の通りである。

収入項目	金 額	構成比	支出項目	金 額	構成比
会 費	100,671 千円	9.5%	事 業 費	121,223 千円	11.4%
補助金・委託費	101,432 千円	9.5%	人 件 費	142,232 千円	13.4%
事 業 収 入	15,841 千円	1.5%	一 般 管 理 費	28,016 千円	2.6%
共 済 収 入	38,075 千円	3.6%	ビ ル 管 理 費	101,480 千円	9.6%
ビ ル 収 入	131,102 千円	12.3%	公 租 公 課	4,681 千円	0.4%
雑 収 入	18,683 千円	1.8%	特定退職金保険料	535,000 千円	50.3%
特定退職金収入	544,700 千円	51.2%	繰 出 金	36,574 千円	3.4%
繰 入 金	36,574 千円	3.4%	積 立 金	35,000 千円	3.3%
繰 越 金	76,234 千円	7.2%	予 備 費	59,106 千円	5.6%
合 計	1,063,312 千円	100%	合 計	1,063,312 千円	100%

Ⅲ 重点事業の関係性

地域課題

能登半島地震・人口流出・経営者の高齢化・事業所数の減少・人材不足・



中小企業・小規模事業者への経営支援（事業予算：2,314万円）

伴走型経営支援（地区割担当制による巡回訪問）

- （創業） 女性創業者支援
・女性創業者・経営者支援チーム「ユニティカル」
- （事業承継） 直接訪問による事業承継相談
- （価格転嫁） パートナーシップ構築宣言の推進と実行
- （業務改善） デジタル化推進支援
- （販路開拓） 国内：高岡市商工会連携による展示即売会の実施
海外：海外展開チャレンジ支援塾・海外バイヤー商談会の開催



地域産業の振興（事業予算：3,285万円）

（地場産業の活性化）

工芸都市高岡クラフトコンペ

・マッチング商談会や他クラフトイベントとの連携、東京展開催

地域観光新発見事業

・工房見学と市内観光をセットにしたモデルコース作成、販売

（新たな地域産業の確立）

観光：高岡情報発信事業

・欧米インバウンド向け広域観光のPR動画を作成



「都市デザイン」と活性化支援（事業予算：1,639万円）

「経済界の考える都市デザイン（10テーマ）」の策定

（人材確保・移住UIJ）

移住・UIJターンの推進（高校生向け合同企業説明会の開催）

若者・女性に選ばれる地域づくり（学生会議等の開催）

（シビックプライド・地域の魅力認識）

「たかおかパワーチェック！」によるシビックプライドの醸成

藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり

・藤子・F・不二雄先生の作品の世界観を通じて、高岡の魅力を再発見

令和7年度 事業計画（案）

※注：◎重点施策、N新規事業、☆130周年事業、予算の（ ）内は前年度予算額

1. 中小企業・小規模事業者への経営支援

（1）伴走型経営支援

◎ア．地区割担当制による巡回訪問

小規模会員事業者の経営課題への早期の相談対応のため、巡回訪問を強化する。また、DX事例集等の各種情報提供やアンケート等も行い、課題の発掘を行う。

イ．経営指導員等による相談指導の実施（窓口指導、巡回指導、専門家派遣指導等）

＜予算489万円（489万円）＞ ※富山県補助事業

・各種経営相談への対応

経営革新、経営一般、金融、税務、労務、取引等

・経営に関するセミナー・相談会の開催

経営者や後継者、管理職を対象とした経営セミナーの他、従業員を対象とした営業セミナーや新入社員講座、課題別の人材育成や相談会を実施する。

・経営安定特別相談

専門家派遣も活用し、経営悪化先の事業者への相談対応を実施する。

◎・パートナーシップ構築宣言の推進と実行

価格転嫁セミナーの開催等を実施することで宣言登録を推進し、中小企業・小規模事業者の取引適正化を図る。

・事業継続力強化支援

事業計画策定に関する講習会（中小機構と共催）の開催や事業継続力強化計画の情報提供、専門家派遣によるBCP（事業継続力強化計画等）の策定支援を実施する。

ウ．専門家活用による相談

・制度改正に伴う専門家派遣等事業＜予算67万円（29万円）＞ ※日商補助事業

働き方改革、税制度の変更への円滑な対応に向けて専門家による個別相談や小規模事業者のデジタル化推進に向けて「デジタル化支援事例集」の作成を実施する。

・事業環境変化対応型支援事業＜予算500万円（510万円）＞ ※日商補助事業

インボイス導入や物価高騰、デジタル化といった事業環境の変化に対し、各種支援策の活用等を支援するため、専門家による相談会や企業訪問の実施等、経営相談体制を強化する。

エ．産学官連携の促進＜予算11万円（11万円）＞

産学連携を促進するため、企業と大学等をつなぐ「産学連携クロスオーバーシステムocket」を導入し、産学マッチングの機会を創出する。

（2）創業・事業承継支援

ア．創業者支援＜予算405万円（365万円）＞ ※高岡市補助事業

相談員の設置、創業初期のワークスペース等の機能を備えた「たかおか創業サポート室」を設置・運営し、創業者への支援を行う。また、御旅屋セリオ内「高岡まちなかスタートアップ支援施設(TASU)」との連携や女性創業者支援の強化を図る。

◎N・女性創業者支援

昨年設置した女性職員による、女性創業者・経営者支援チーム「ユニティカル」が、女性創業者の相談機会の創出及び創業達成件数の増加を図る。

- ① 「女性のための個別相談会」の開設（TASU との連携、年4回）
- ② 「女性のための創業勉強会&交流会」の開催（富山県信用保証協会との連携）
- ③ 「女性のための事業化体験」（7 days チャレンジ）事業の実施

近年中の創業を視野に入れた方の事業化体験の場と機会の提供を行い、事業経験により、商圏・店舗運営や係数感覚、広報全ての経験を通じた実創業内容のブラッシュアップ支援をする。

イ. 高岡スタートアップ塾＜予算33万円（55万円）＞

青年部との共同事業として、4年目を迎える今回は、過去参加者を含めた交流の機会を提供する横のつながりを強化した講演会・交流会（全2回）を開催する。

ウ. 事業承継支援＜予算20万円（20万円）＞

令和6年度実施「事業承継アンケート」回答事業者への直接訪問及びマッチング機会の創出等、高岡市、富山県事業承継・引継ぎ支援センターや北陸税理士会高岡支部等と連携し、支援を強化する。

- ・事業承継個別相談会の開催（富山県事業承継・引継ぎ支援センターと連携、月1回）

◎N・直接訪問による事業承継相談の実施（富山県事業承継・引継ぎ支援センター、民間事業者と連携）

（3）販路開拓（国内・海外）支援

ア. 経営発達支援事業（伴走型小規模事業者支援推進事業）

＜予算450万円（280万円）＞ ※国補助事業

国の認定を受けた経営発達支援計画に基づき、小規模事業者を対象とした販路開拓支援を実施する。

◎N・高岡市商工会連携による展示即売会の実施

高岡市商工会と初連携による大都市圏での「ALL 高岡」展示即売会を実施する。

- ・ミーナ（商圈分析）・キイタス（AI 経営分析）活用職員向けセミナーの開催

伴走型支援に活用できる2システムを契約し、個社支援力を高める。

イ. 販路開拓支援＜予算200万円（300万円）＞ ※国補助事業（一部）

- ・国内向け販路支援

- ① ビジネスモール、ジェグテックの利用促進
- ② ビジネスドラフト、日商・東商事業への参加促進、御旅屋人マーケットへの出店支援

◎N・海外向け販路支援

- ① 海外展開チャレンジ支援塾の開催（5回コース、少人数での海外展開戦略ゼミ）
- ② 富山県新世紀産業機構 海外バイヤー商談会の連携開催

ウ. 展示会・商談会出展への支援＜予算55万円（55万円）＞

全国の商工会議所が主催、後援等する商談会や展示会、物産展への出展に対して助成を行う。

（4）業務改善（デジタル化・働き方改革）への支援

◎ア. デジタル化推進支援＜予算70万円（70万円）＞

※事業環境変化対応型支援事業（日商補助事業）にて予算対応

デジタルセミナーの開催や専門家による個別相談会（月1回）開催、事業所訪問等を通じて、規模・業種に応じたデジタルツールの導入による業務効率化やネットワーク環境の見直し等への伴走型支援を行う。

イ. 記帳指導対策＜予算9万円（9万円）＞

小規模事業者向け日商の会計ソフト「マネーフォワードクラウド」の導入を促進し、会員事業所の経理事務や税務申告作業の業務効率化を図る。

ウ. 制度改正に伴う専門家派遣等事業<予算67万円(29万円)> ※再掲事業

小規模事業者のデジタル化推進に向けて「デジタル化支援事例集」の作成

エ. 働き方改革の推進<予算10万円(30万円)>

デジタル体験ブースにて、リモートワーク、クラウド会計、POSレジスターシステム等デジタルツールのデモ操作を体験してもらうとともに、高岡市と連携した関連セミナー等を開催する。

・「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー&交流会」の開催（高岡市と連携）

2. 地域産業の振興

(1) 中心市街地・地域商業の活性化

ア. まちづくり事業への支援<予算568万円(563万円)>

末広開発(株)まちづくり事業部に引き続き職員を派遣し、中心市街地の活性化事業（高岡市中心市街地活性化協議会事業を含む）に支援を行う。

観光・おもてなし事業（七夕まつり、なべ祭り等）、賑わい創出・商店街活性化事業 等

イ. eスポーツ拠点運営への支援<予算55万円(55万円)>

御旅屋セリオ内にあるeスポーツの拠点施設であるeパークの運営支援を行う。

ウ. 空き店舗調査事業<予算20万円(50万円)> （総事業費80万円）

遊休不動産のリノベーションを促進するため、高岡市及び末広開発(株)と当所が共同で空き店舗調査（R6追跡調査）を実施する。市リノベーション補助金とも連携し、空き家も含めその活用を促進する。

エ. まちなかの賑わい創出<予算470万円(470万円)>

御旅屋セリオ内において、県産材の遊具を設置した「オタヤ子ども広場」の運営により、まちなかの回遊性を促進し、賑わい創出につなげる。

オ. たかおか得するまちのゼミナール<予算80万円(84万円)>

高岡市商店街連盟と連携して、商店主が市民に自店の商品やサービスの知識・使い方等のノウハウを伝授し、お店のファンづくりを行う。

(2) 地場産業の振興

◎ア. 工芸都市高岡クラフトコンペ<予算1,040万円(500万円)>

※富山県・高岡市補助事業（総事業費2,513万円）

令和6年度に協議を重ね、地元伝統産業の発展に資する持続可能なクラフトコンペ事業を目指し、地元産業とのつながりを増やすためのマッチング商談会や他クラフトイベントとの連携、2年での一事業開催へ事業再構築を図り、今回は令和6年度中に公募を開始し、東京展も開催する。

イ. 文化財修復拠点化事業<予算10万円(30万円)>

伝統工芸高岡銅器振興協同組合が実施する文化財修復拠点化事業を支援する。

◎ウ. 地域観光新発見事業<予算660万円(600万円)> ※国補助事業

令和6年度に海外の工芸愛好家に対し、工房見学と市内観光をセットにしたモデルコース作成、テストマーケティングを実施、事業2年目として売り出しの強化に取り組む。

(3) 観光産業への支援

ア. 観光情報の発信強化

◎☆・高岡情報発信事業<予算200万円>

高岡市での観光を旅行者に選んでもらえるよう的確かつ強力に情報発信するため、欧米インバウンド向け広域観光のPR動画を作成、プロモーション活動を強化していく。

・免税店設置支援<予算5万円(5万円)>

外国人観光客向けに多言語による飲食店やホテル、観光施設等をインターネットで紹介するHP「OIDEYO TAKAOKA(おいでよ 高岡)」を運営、観光情報の発信を行う。

・産業観光の推進<予算16万円(16万円)>

当所HP内の「高岡産業観光ガイド」を更新、運営による情報発信及び「富山産業観光図鑑」の改訂版(富山県商工会議所連合会)の発行、PRを行う。

イ. 観光サービスの充実

・たかおかいっぴんセレクション<予算25万円(200万円)>

令和6年度に認定した高岡土産品について、販売追跡や購入者アンケートを実施し、事業効果を測るほか、プレゼントキャンペーンや金融機関(東京)でのコーナー展示等、全国へのPRを推進する。

・高岡食のブランド化<予算20万円(20万円)> ※高岡市補助事業(総事業費140万円)

高岡食のブランド推進実行委員会として、「高岡昆布百選」及び「加賀前田御膳」の認知度向上に向けたPR活動を行い、旅行会社等とも連携し、観光客の誘致を図る。

・国宝勝興寺周辺の活性化<予算35万円(50万円)>

伏木地域の商工業者と連携し、国宝勝興寺を核とした地域賑わい事業を行う。

・高峰譲吉博士顕彰プロジェクト<予算25万円(25万円)>

商工ビル1階における松楓殿再現展示において、スマホを活用して展示内容の説明、解説が聞けるような音声ガイド(英語版と中国語版)を追加設置し、観光客へのサービス向上につなげる。

3. 「都市デザイン」と活性化支援

◎(1)「経済界の考える都市デザイン」の策定<予算250万円(150万円)>

5 常任委員会で協議を進めている高岡地域の課題10テーマを、都市デザインにまとめるとともに、本デザイン推進(高岡テクノドーム別館の誘致活動、高岡古城公園の魅力向上、城端・氷見線の直通化等)に取り組む。

(2) 地域ブランド化の推進

ア. 雨晴海岸のブランド化<予算164万円(205万円)>

景勝地雨晴海岸のブランド化を推進するため、富山湾越しの立山連峰を望む雨晴海岸のカレンダーを作成、会員事業所や首都圏等の関係企業、団体等に配付し、地域内外への情報発信を行う。

◎イ. 藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり<予算90万円(125万円)>

市内小学生を対象に、高岡市出身の藤子・F・不二雄先生の作品の世界観を通じて、高岡の魅力を再発見する事業を行う。

◎☆ウ. 「たかおかパワーチェック!」によるシビックプライドの醸成<予算255万円(20万円)>

高岡の歴史・文化・産業を学び、高岡をよく知ることで、故郷への誇り(シビックプライド)を醸成するとともに、観光客にも高岡をより知ってもらうことを目的とする「たかおかパワーチェック!」のサイト及び冊子を制作する。

エ. 富山県西部地域 産業偉人の情報発信<予算10万円(10万円)> ※当所負担額

富山県西部地域は、世界に誇れる「ふるさとの産業偉人」を輩出し、地域の財産となっている。

富山県西部産業開発協議会と連携して、こうした先人たちの功績やゆかりの地を紹介するサイト運営等のPR活動を行う。

(3) 地域活性化への支援

ア. 移住・U・I・Jターンの推進<予算375万円(375万円)> ※高岡市補助事業

たかおか企業人材確保推進協議会(当所・高岡市・ハローワーク高岡)として、首都圏をはじめとした大都市圏を中心に移住や雇用等の地元回帰を促進する事業に取り組む。

・首都圏等における就職イベント・移住フェアへの出展

◎・高校生向け合同企業説明会の開催

・HP、Web 広告等を活用した情報発信 等

イ. 若者・女性に選ばれる地域づくり<予算45万円(33万円)>

当所女性議員による「女性に選ばれる地域づくり委員会」で、昨今の地域課題である「若者・女性に選ばれる」ための要望及び事業を実施する。

・「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー&交流会」の開催(高岡市と連携) ※再掲事業

◎N・学生会議の開催

市内で学ぶ学生(高校生)からの生の声を集め、提案要望と今後の事業へ反映する。

ウ. カーボンニュートラルの推進<予算50万円(10万円)>

高岡市の脱炭素先行地域の選定を受け、経済界としても積極的に脱炭素化の推進を行っていく上で、「商工会議所CO₂見える化サポート『見えサポ』」の導入支援及び推進とともに、富山県西部森林活用事業検討協議会の事業推進(プラン策定)に協力していく。

エ. 空き工場・空き店舗等の有効活用<予算270万円(260万円)> ※高岡市補助事業

市内の空き工場や空き地、空き店舗等の事業用不動産情報をHPで紹介し、市内外の事業者の移転や増設、企業誘致の一助とする。PCに加え、スマホ、タブレットにも対応した情報提供を行う。

(4) 交通インフラの充実と利用

ア. 新高岡駅の利用促進<予算10万円(10万円)> ※当所負担額

新幹線まちづくり推進高岡市民会議として、新高岡駅の利用促進を図るため、高岡市や高岡市観光協会及び各種団体と連携し、旅行商品の造成等の誘客の支援事業を展開するとともに、乗降客増加による流入人口と県西部地域への経済効果の拡大に向け、官民協力して取り組む。

イ. 伏木富山港の利用促進<予算15万円(15万円)> ※当所負担額

行政機関や伏木外港利用促進協議会等と連携し、伏木外港の利用PRを積極的に行なうとともに、大型客船の誘致等ポートセールス活動を推進する。

また、大型客船の入港時に歓迎事業等を実施する。

ウ. 城端線・氷見線の直通化及び万葉線との一体化の研究・推進 ※再掲事業(常任委員会活動)

まちづくり常任委員会(10テーマの1つ)が中心となり、城端線・氷見線の再構築実施計画における直通化や利便性の向上、将来的な万葉線の乗り入れ等一体化の研究・推進に取り組む。

4. 商工会議所体制・事業の強化

(1) 議員改選

議員の任期：10月31日まで（新たな任期3年：令和7年11月1日～令和10年10月31日）

☆(2) 創立130周年事業の実施＜予算1,335万円＞

当所は1896年（明治29年）2月19日に創立、令和8年2月に130周年を迎えます。

ア. 記念式典（記念講演会・祝賀会含む）

イ. 100年企業表彰（高岡老舗会と共同事業）

ウ. 「前田利長公大吟醸」（200本限定）

エ. 「高岡商工会議所プロモーションビデオ」（近年10年をまとめた紹介ビデオ）

オ. 「たかおかパワーチェック！」 ※再掲事業

カ. 高岡情報発信事業「欧米インバウンド向け観光PR動画」 ※再掲事業

※令和8年度に、IEAT との交流やクラフト海外展を見据え、海外展開ミッション議員視察を予定

N(3) 伏木支所解体及びメモリアル展示の実施＜予算500万円＞

能登半島地震によって被災した伏木支所（支所機能は、氷見伏木信用金庫伏木支店内に事務所移転）の解体及び部材の一部を「伏木支所メモリアル」として商工ビル内に展示する。

(4) 事務局のデジタル化推進＜予算240万円（310万円）＞

事務局の業務効率化を図るため、生成AIソフトの導入の他、各種会議のリモート化やタブレット端末によるペーパーレス化を進めていく。

(5) 事務局職員の資質向上（研修・資格取得の奨励）＜予算80万円（70万円）＞

経営指導関連研修の参加をはじめ、中小企業診断士等各種資格取得を奨励し、研修費を助成する。

また、隔月（年6回）で当所専門相談員（税理士、中小企業診断士、社会保険労務士等）による経営支援研修を新たに実施する。

(6) 各種団体との連携強化＜予算180万円（180万円）＞ ※当所負担額

定例会の開催、共催・連携事業の実施 等

高岡商工会議所青年部、高岡商工会議所女性会、創志会、高岡伝統産業青年会、伏木商工業青年部会、日本珠算連盟高岡支部、高岡市商店街連盟、近世高岡の文化遺産を愛する会、高岡旧町名復活を推進する会 他

(7) 会員サービス事業の充実

ア. 会員大会の開催＜予算224万円（210万円）＞

イ. 集合健康診断の実施・健康経営の推進＜予算45万円（47万円）＞

ウ. 新春高岡経済懇談会の開催＜予算130万円（140万円）＞

エ. 富山サンダーバーズ冠試合の実施＜予算60万円（70万円）＞ 他

(8) 調査・広報活動

ア. 会報の発行＜予算948万円（917万円）＞

イ. 経営支援情報メールマガジンの発信＜予算5万円（5万円）＞

ウ. LINE 情報配信サービスの配信<予算31万円(20万円)>

所内PTを設置し、SNS等による情報発信の充実・強化を図る。

エ. 高岡ケーブルテレビ・ラジオたかおかのニュース番組の放送<予算65万円(65万円)>

オ. LOB0 調査・高岡地域経済動向調査<予算34万円(34万円)>

カ. プレゼンス強化事業<予算19万円(23万円)> 他

(9) 財政基盤の強化

ア. 会員増強 イ. 共済制度の加入推進 ウ. 商工ビルテナントの確保

所内PTを設置し、加入促進活動の強化を図る。

(10) 交流連携事業<予算73万円(100万円)>

ア. 北陸新幹線敦賀延伸に伴う沿線商工会議所との交流

イ. 一宮、犬山及び長野商工会議所との交流

ウ. 能登地区、飛騨地区商工会議所、商工会との交流

エ. 県西部商工会議所との交流連携

(11) 提案要望等意見活動(能越商工観光懇談会、富山県西部産業開発協議会を含む)

高岡市、富山県、国及び関係省庁、日本商工会議所、JR 等関係機関への提案要望

(12) その他事業活動に必要な事項